

活動報告

春の自然に大接近!ミクロの世界を体験だあ 全国一斉自然かんさつ

3月29日、立神峡公園において、全国一斉自然かんさつ会を開催しました。当日はあいにくの雨で傘を差しての観察会となったため、管理棟裏のエノキの樹皮に巻き付いているカズラや、地衣類(共生生物)、新芽を虫めがねでじっくりと見てみました。参加者は大人ばかりだったのですが、虫眼鏡を使つての観察は久しぶりと、わくわくしながら楽しんでいただけました。



▲よ〜く見て

ゴールデンウィークイベント

火を起こして、棒まきパンを食べよう!!

- ◆日時：5月3日(土)・4日(日) 9時30分～(9:00受付)
- ◆参加費：1,000円/人
- ◆募集組数：5組程度(要予約)
- ◆所要時間：1～2時間程度



第1回立神峡公園フォトコンテスト開催

氷川町の大きな財産である立神峡公園を題材とし、美しい新緑、渓谷内を流れる氷川などの写真を募集します。第1回フォトコンテストのテーマは「ここが好きばい立神峡!!」です。

今回のイベントを通して、氷川町の誇る立神峡を見つめ直していただける機会になればと思います。

- ◆期日：5月3日(土)～6日(火)
- ◆参加費：無料
- ◆写真：1人1枚まで(写真データを頂きます)
- ◆賞品：立神峡公園産 棚田米(餅米・とれたてこ)
- ◆受付：立神峡公園管理棟 (9時～17時随時受け付け)

※入賞作品は1年間、管理棟内に飾らせていただきます。



くまモン風を作ろう!!

- ◆日時：5月4日(日) 9時30分～(9:00受付)
- ◆場所：立神峡公園管理棟 研修室
- ◆参加費：1基につき2,500円
- ◆募集定員：6基まで(要予約)
- ◆所要時間：2～3時間程度

宿泊通学ボランティアスタッフ募集

毎年8月下旬から9月中旬まで、氷川町教育委員会主催の宿泊通学体験事業が行われています。親元から離れ、自分たちで食事を作り、お風呂を沸かし(立神峡公園里地屋敷のお風呂は五右衛門風呂です。)、母屋と納屋で宿泊しながら学校に通学する活動です。

- ◆募集人員：5人程度(高校生・大学生・社会人など)
- ◆お問い合わせ・お申し込み先
立神峡公園管理棟 担当 志水 ☎62-1543



お問い合わせ・お申し込み先
立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamikyou@yahoo.co.jp (8:30～17:30 火曜定休日)

町民文芸

短歌

百年の木犀の枝切落とし
光差し込み垣根育む

法道寺 本田 花風

今朝もまた5倍5倍の大活字
増税前の折込に見る

北野津 宮本 末秋

桜咲くまちに待ったる花の下
時間のありて吉野行く

高塚 桑原ゆき代

師の君の心ゆかしきお茶の席
甘きかほりの仄かに立てば

吉本 高橋 澄子

鳥帰る童も帰り我れ帰る
花野に赤き陽は沈みゆく

西野津 古崎スエノ

逢いたくて主と来ました彼岸日の
線香の煙白くゆらいで

南鹿野 尾崎 京子

床の中ふと浮かび来し詞の文句
忘れぬうちと起きて書き留む

吉本 橋村 正之

傘さして眺むる庭の片隅に
椿の花に雨降り注ぐ

西野津 古崎 栄子

俳句

西陲に錦おりなす春夕焼
いよよ華やぐ命なくせば

桜ヶ丘 宮崎敬四郎

金婚祝いにロボット掃除機頂いて
暫し遊びぬ二人の時間

西上宮 村内 一誠

若葉中桜浮き立つ友のいて
花を愛て歌を愛して人は酔ひ

高塚 桑原ゆき代

花時雨電話待ちたり一人居て
水温み水光りて春の風

西野津 古崎スエノ

水温む春一番の梅花舞ふ
風強く咲きし牡丹の耐えてをり

西野津 古崎 栄子

菜の花の径まっすぐに船止まり
春虹二重父母の光陰とけ匂ふ

町 香山セツ子

類杖をついて待つ身の春愁ひ
頰杖をついて待つ身の春愁ひ

桜ヶ丘 吉田 照子

迷わずに一日去りゆく春夕焼
薫風や心おどらせ孫二人

町 田中 澄子

暁光や阿蘇を鎮める春の雪
批評家への話題提供のために書くといふのも、確かに随分しよった言いぐさですが、自他ともに認める大物だったということではないでしょうか。正式な回答は明日にご連絡方々と。電話のやり取りで、いやもうこれで十分と思います。有難うございます。お礼を述べた。冒頭の五七は「黙っているに越したことはない」「たまさかに」は書くだけでたちまち話題になるという自覚と自負がなければ、これは作れない。鳴外が嫌いな人もあろうし、その逆もある。単なる文筆家とは一味違うのは、彼の生い立ちにもあろう。

黙あるに若かず：世間でも良く出くわす、我もそのタイプの一面がある。

鳴外論：黙あるに若かず【後編】
法道寺 本田 花風

替え歌シリーズ

北の宿から

吉本 橋村 正之

あなたすっかり変わったわ
恋人時代の尽くしよう
まるで私は王女さま
それが今ではお三さん
男ごころの本音でしょう
釣た魚にえさやるか

あなたお隣りお出掛けよ
お休みたびごとお揃いで
どこへゆくの楽しそう
ダメなあなたは疲れたと
家でゴロゴロしているばかり
たまに私も連れ出して

あなたほんとに情けない
それはおまえのする事と
みんな私に当てがって
知らぬ顔して澄ましてる
こんな人だとわかっていたら
わたし結婚しなかった

投稿いただきます作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。また、確認のためお電話することもありますので、連絡先の記入をお願いします。